

# 「自分も周りの人もみんな大切」

<南風 第5回 6月>

先日の地区総合防災訓練ではたくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご参加いただきありがとうございました。実際に被災された人の話を聞いて、我々がメディアで得た情報や想像しているイメージとは大きく異なる被災地の実態や各クラスでの防災学習、消防署の方々による訓練の見学などで、子どもたちも安全、健康、命を守ることの大切さを学んでくれたのではないかと思います。

今週の朝礼では南小の今年度のキャッチフレーズ「にじいろキラキラ」になるための「あ・い・う・え・お」の「い」について話しました。「い」は「命を大切に」というテーマとしました。子どもたちも「い」は「命」ではないかと予想していたみたいで、「あー、やっぱり」という声も聞かれました。完全にネタバレしていました……(笑)

「4, 204万8千回」この数字は何か分かるかな？

これは、1年間に皆さんの心臓がどくんどくと動く回数です。心臓は、1分間に平均して80回位動くそうです。だから1年間にすると、心臓は約4, 204万8千回動いているそうです。6年生の人は、生まれたときから、心臓は休みなく約5億5000万回動いているそうです。校長先生の心臓は生まれたときから、24億回近く動いていることになります。すごい回数ですね。

こう考えると、自然に私は自分の心臓に、「ご苦労さん、ありがとう」という気持ちになってしまいます。それと同時によく考えると不思議なことがあります。

自分の心臓を自分で動かしているという意識がないということです。皆さんもそうですね。心臓を自分で動かしたり止めたりすることのできる人はいないはずですが。心臓というのは何かの力で動いているわけです。だから、この一生懸命動いている心臓に感謝しながら、命を大切にしなければなりません。みんな誰にでもあり、でもみんな一つしかない命を大切にしましょう。

南小学校でも、4月から交通安全教室や防災訓練など命を守る学習を取り組んできました。その中でも、大切な命についての話があったと思います。

命がなくなると、もう2度と戻らないことは皆さん知っていまよね。ゲームなどでは、死んでしまったキャラクターが簡単に生き返ったりしますが、そんなことはありませんよね。リセットはできませんよね。命がなくなると、本人が一番悲しいです。す。これから先、辛いこともあるかもしれませんが、それよりも楽しいことは山ほどあります。世界中を旅行する人、スポーツ選手になって、みんなに感動を与える人、政治家になってみんなのためにがんばる人、研究や発明をしてノーベル賞をもらう人もいでしょう。皆さんには、限らない可能性や夢があります。命がなくなってしまうたら、何一つできません。とても悲しいことだと思いませんか？

そして、命がなくなると、家族や友だち、学校の先生たち、地域の方々が悲しみます。特に、家族はとても悲しい思いをします。

そして、同じように自分たちの周りの人たちの命も大事にしてほしいと思います。周りの人の命を大事にするということは、その人を馬鹿にしたり、弱いからといって、からかったり、軽く見たりすることをしないということです。それは絶対に許されない事です。周りの人も自分と同じように大事にするということですね。自分の命、まわりの人の命を大切に、一日一日を皆さんが楽しく過ごしてほしいと願っています。

という内容の話をさせてもらいました。「命を大切にすることから「周りの人を大切しながら共存していく」と結びついていくように願って伝えました。みんな真剣に聞いてくれました。ご家庭でも「命」について考える機会をもっといただけると幸いです。

6月になり、暑くなってきましたが、毎日元気に楽しくがんばる南っ子です。